

# 子どものSOSに気付くために ～校内の教育相談体制を確認しましょう～

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課

令和2年9月

悩みを抱える子どものSOSに気付き、手を差し伸べることができるよう、次のチェックリストを活用し、校内の教育相談体制を確認しましょう。

## 校内の教育相談体制のチェックリスト

①	問題に気付いた人が、問題を全体に投げかけられる雰囲気がありますか。 子どもの変化に気付いた人が、職員室で話し合ったり、学年会で話題として取り上げたりするような雰囲気づくりが大切です。	<input type="checkbox"/>
②	話合いが継続的に行われるようなシステムができていますか。 管理職を含め、教職員がチームとなって情報交換を定期的を実施し、情報の共有化を図ることが大切です。	<input type="checkbox"/>
③	事例検討会を実施していますか。 定期的に事例検討会を実施し、子どもの心理についての理解や自殺予防の対応についての検討を重ね、自殺に関する問題意識を高めることが大切です。	<input type="checkbox"/>
④	スクールカウンセラーや学校医との連携はとれていますか。 教員とは異なる関わりができ、子どもが心を許して相談できる存在として校内体制に位置付け、十分な連携を図ることが大切です。	<input type="checkbox"/>
⑤	学校だけで対応するのではなく、専門機関を積極的に活用していますか。 警察や保健センターなど地域の専門機関と日常的に連携し、顔見知りの関係になることで、自殺の危機が高まった際などいざという時の迅速な対応につながります。	<input type="checkbox"/>

### ★教育相談活動の充実に向けたワンポイント

#### 相談しやすい雰囲気づくり

教育相談週間を設けて子どもが先生と話しやすい雰囲気をつくったり、アンケートを実施して子どもや保護者の声が学校に届くようにしたりすることが大切です。

#### 言葉にならない声への気付き

子どもの行動の背後にある心の変化や危機を敏感にとらえ、子どもの言葉にならない声にも耳を傾けるようにすることが大切です。

#### 多角的な視点を生かした子ども理解

「学校全体で子どもを教育している」という認識をもち、きめ細かい対応を行うことができるよう、教職員間で情報を共有することができるよう体制を構築することが大切です。